

令和7年度 和歌山県地域と学校の連携・協働体制推進事業の目標及び実績について

市町村名：湯浅町

課題の類型1	学校と家庭の課題
課題の類型2	放課後等における多様な体験活動
背景・現状・課題の詳細	共働き世帯の増加に伴い、放課後や休日において、児童が安心して過ごせる居場所を整備しているところであるが、児童や家庭のニーズが高い一方、参画していただける保護者や地域住民が少ないことが課題となっている。
解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	どの小学校からも出席することができる既存の放課後子ども教室以外に、小規模校に通学する児童を対象に、各小学校区で定期的に放課後子ども教室を開設し、気軽に立ち寄れる居場所づくりを目指したが、放課後児童クラブを設置していない小学校区のための開設にとどまった。
本事業で達成する目標	CS 推進員や地域学校協働活動推進員が保護者の願いや児童のニーズに寄り添い、地域住民の参画を得て積極的に児童を支援しようとする体制を構築し、すべての小学校区で定期的に児童によって有意義で安心安全な居場所を提供する。
目標の達成度を測る指標	日常的に開催している教室（校区）数
本年度の目標	4 校区
本年度の実績値	4 校区
達成度に関する評価・分析	6 年度に開設できなかったすべての小学校区における放課後子ども教室の開設は、開催日数に差があるもののすべての小学校区で開設することができた。ただ、地域住民が関わっている程度の開設日を設けられたところもあれば、まだまだ人員不足のため子どもや保護者のニーズに応えられるだけの開設日数を設けられないところもある。今後も保護者や地域住民に周知することで、気軽に参画いただける方を募っていきたい。